



学校だより

6月号

葛野小学校教育目標

「未来を拓く 健やかな 葛野の子」

スローガン 「早寝 早起き 朝ごはん 元気なあいさつ 外遊び」

令和5年5月31日

横浜市立葛野小学校

校長 阿山 美香

自分らしく いきいきと

特別支援教育コーディネーター 佐藤 理恵

5月27日土曜日、晴天の中、SSC（サンシャインスターカップ）が実施されました。本校にとって春に実施するSSCは、学年・学級の仲間づくり、上級生としての自覚を育む大切な行事です。ブロックでの演技練習では、下級生の手本となるよう真剣に取り組んだり、優しく声をかけたりする姿が見られました。さらに高学年は、それぞれが役割をもち、創意工夫をしてSSCを盛り上げました。今年は全校競技の「大玉おくり」やバトンをつないだ「リレー」の復活があり、改めて、この3年間、子どもたちは制限のある中で学校生活を過ごしてきたのだと痛感しました。



応援席はペア学年ごとになっていました。1・6年、2・4年、3・5年がそれぞれペアとなり、異学年交流をしています。特に6年生が1年生に接しているときの姿はとても微笑ましいです。単にお世話をしているということではなく、このペア活動を通して、6年生は自尊感情が高まり、1年生にとっては6年生が憧れの存在となります。始業式で、6年代表児童が「1年生のときに憧れだった6年生のように」と話した言葉に、葛野のよさがしっかりと受け継がれていることを確信し、同時に、子どもたちは、人との関わりの中で成長していくのだと実感しています。

さて、SSCが終わるのを待っていてくれたかのように、今週から梅雨入りを感じる天気となりました。あじさいの季節です。子どもの頃に、「あじさいは、育つ土壌によって花の色が変わる」と教えてもらい、とても不思議に思った記憶があります。土の酸度と花に含まれる色素の反応によって色が変化するそうです。まるで、葛野っ子のように。家庭や地域、学校等での経験を吸収し、それぞれに美しい色で花を咲かせようとしています。一人ひとりが自分らしくいきいきと輝けるように、これからも全職員で支援していきます。一方で、梅雨の頃は、これまでのがんばりすぎた心が疲れを感じやすい時期でもあります。ご家庭におかれましては、子どもたちの様子を見守っていただき、お早めにご相談ください。